

# 日本人とサルの関係とは？



野猿公苑とは、野生のサルを餌付けし間近で観察できるようにした場所です。

写真提供 塩山さん

卒業生 塩山麗香さん (2015年度入学)

## 問題発見

### 野猿公苑が担う役割とは？

フィールドワークの授業で、農家の方がサルの獣害に悩まされていることを知りました。また、地元で野猿公苑があったことを知り、興味を持ったので野猿公苑の歴史や役割について研究しました。

## 調査分析

### 現地へ行き、自分の目で調査

現在も開園している野猿公苑(9苑)に電話でアンケート・ヒアリング調査を行い、現地へ行きそこで働く人々に聞き取り調査を行いました。



写真提供 塩山さん

## 問題解決の糸口発見

野猿公苑ではサルと人の距離が近くなりすぎてしまった結果、サルが人に攻撃するといった負の影響を及ぼすようになり閉園に追い込まれた施設もあります。一方、現在も開園している野猿公苑は、観光地としての役割、環境教育についての役割の二つを担っており、これらが存在意義になりえるのではないかと考えられます。



写真提供 塩山さん

”問題“を探せ。  
答えを探すな。

滋賀県立大学 環境科学部

環境政策・計画学科

http://depp-usp.com

## 学科への入学を希望されている方へ

大学は教科書から学び取ることばかりではありません。私が所属していた環境政策課・計画学科では「答えを探すな、問題を探せ」とよく言われていましたが、そんな簡単に見つからないのは卒業論文に取り組む段階で思い知りました。知りたいテーマを見つけるところが卒業論文では大切なポイントでした。そのテーマは自分が4回生になるまでの3年間でどんなことに興味を持ったかが重要だったと思います。大学で学ぶ中、普段の暮らしの中で様々な事を見聞きして見聞を広げ、疑問や興味を持ってください。